

# HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成25年10月4日

## 「避難せよ！」 溶岩ドーム崩壊を想定した避難訓練を実施

発信元

雲仙復興事務所  
建設監督官 氏名 神崎 博章

### 平成新山溶岩ドーム崩壊を想定した避難訓練を初めて実施！

平成25年9月13日に雲仙普賢岳平成新山の溶岩ドーム崩壊を想定した初めての避難訓練を、埋蔵文化財発掘調査員も含む工事関係者約80名で実施しました。当日はTV3社、ラジオ1社、新聞1社等多数のマスコミの取材を受けました。当日の訓練参加者からは、「緊張感があった」「避難時間短縮を工夫したい」等積極的な意見が多くありました。

山頂には、不安定な状態で溶岩ドームが堆積！近くで見ると迫力があります。



火砕流で被災した、(旧)大野木場小学校



埋蔵文化財発掘作業員も訓練に参加

避難場所に続々と車で移動！



避難施設のある大野木場監視所へ！



避難室は密閉可能なため、酸素ボンベの動作訓練も実施！



TVカメラも3台入り撮影

「避難完了！」  
参加者へ避難完了時間の報告  
事務所長からの講評後、解散！



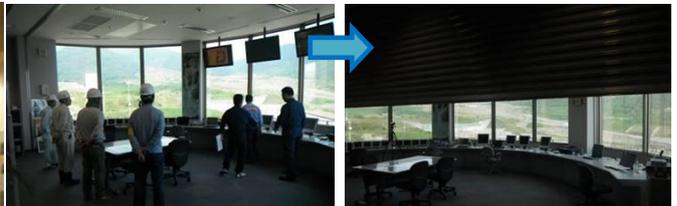
「訓練で得られた教訓を踏まえ、  
溶岩ドーム崩壊も想定した工事  
安全対策を推進したい」



事務所長へのTV取材(当日に3社全て放映されました。)



マスコミ各社からの、本日の訓練に対する事前の  
質問に回答しました



4階の監視所: 避難完了確認。シャッターも降ろしました。



避難は慌てずに！  
急いで！  
まずは人命第一！

○大野木場監視所の機能

- ・地下室等工事関係者等を対象とする火砕流を想定したシェルターとなっており、二重扉や非常用の酸素ボンベが備蓄されている
- ・島原市及び南島原市の避難場所にも指定されている
- ・平常時は広報スペースとして活用(右写真)
- ・最上階は工事の安全を確保するための、監視施設となっている

